

M 氏邸訪問記(2016.6.5)

1. はじめに

前回の [M 氏邸訪問](#) と [拙宅へのご来臨](#) で、O 氏秘蔵のカートリッジと M 氏および当方のカートリッジの聴き比べをしました。しかしながら、まだ同時に聴き比べをしていないものもあるので、再び M 氏邸で聴き比べの機会を持つことにしました。

2. M 氏邸のシステムの概要

基本的には前回の訪問記と同様ですが、その後もケーブル関係の foQ シートによるチューニングを重ねられたとのことでした。

当方からの持参品はカートリッジの Ortofon SPU Synergy とトランスの Ortofon ST-7 です。同行の O 氏はカートリッジの Ortofon SPU Gold と Ortofon SPU Classic と IKEDA 9 を持参されました。



3. M 氏邸のシステムの試聴経過

O 氏が遅れてこられるとのことで、その間、M 氏の銘盤の聴き比べをさせていただきました。

最初にグリュミオーとハスキルのモーツアルトの P ソナタの CD を聴かせていただきましたが、O 氏によればチューニングで音圧が上がり、ダイナミックレンジも増したとのことでした。当方の印象では倍音領域の繊細感が増して、弦の艶が一層よく出るようになったように感じました。

それではと、M 氏の SPU Royal をセットしたプレイヤーで、同じグリュミオーとハ

スキルのアナログ盤で、①フィリップスのオリジナル盤、②日本フィリップスの高音質盤、③フランスフィリップス盤、④日本の通常盤を聴いていきました。



①フィリップスのオリジナル盤はナチュラル、②日本フィリップスの高音質盤は高音質をうたうだけあって切れ込みの良い音、③フランスフィリップス盤は①に似ていますが、少し華やか、④日本の通常版はクリーンですが、コクがないような感じで、これほど盤による音質の変動があることに驚きました。好みとしては①のオリジナル盤になりましたが、特定の盤だけ聴いて音質や演奏を評価することの危険性もあることが分かりました。

ここでカートリッジをSPU Royalから持参したSPU Synergyに替えて、③フランスフィリップス盤を聴いてみましたが、押し出しが良いものの繊細感が低下してしまう印象でした。盤をバックハウスのベートーベンのソナタに替えますと、ベーゼンドルファー・インペリアル迫力の表現が好ましくなり、アタック感や左手の鍵盤の沈み込みでは、SPU Synergyの良さが出てきました。



ここでトランスの M 氏邸のデンオン製から持参した **Ortofon ST-7** に替えますと、純正の組みあわせということで、バックハウスもワイドレンジになり、先の③フランスフィリップス盤のグリュミオーを聴いても、マッチングの良さが分かりました。

カートリッジを再び M 氏の **SPU Royal** に戻し、**Ortofon ST-7** との組み合わせで聴いてみますと、**SPU Synergy** はメリハリの利いた音ですが、**SPU Royal** はよりナチュラルになり、拙宅の G シェルではない **SPU Royal N** との **ST-7** との組み合わせの音を思い出させる結果になりました。

ここで O 氏が到着されましたので、**SPU Royal** から O 氏ご持参の **SPU Gold** にしてみました。③フランスフィリップス盤のグリュミオーはさらに優しく繊細な音になりました。

ワグネリアンの O 氏に合わせてワルキューレとタンホイザー序曲を聴きますと、O 氏は良い音であるが、少し線が細いというご感想です。そこで **SPU Synergy** に付け替えてみますと、ワルキューレとタンホイザー序曲には押し出しの強い **SPU Synergy** の迫力が望ましいということになりました。

ここで O 氏ご持参のもう一つの **IKEDA 9** に替えてみたところ、一転して分解能が上がり、ゴージャスなワグナーになりました。ワグナーからグリュミオーの③フランスフィリップス盤に戻って聴いてみますと、すっきりと綺麗な音になりましたが、グリュミオーらしい艶やかさが若干後退したようにも感じました。

ふたたびワグナーに戻り、カートリッジを **IKEDA 9** から、M 氏常用のベンツマイクロ **ACE SM** にしますと、分解能もありながら、コクのある深味のある音がしました。このままで、春の祭典を聴くと、高域の分解能や低音楽器のよどみのない音が聴けました。さらに、バックハウスのベートーベンからトリスタンとイゾルデへと M 氏サウンドの世界を堪能した後、もう一つのベンツマイクロ **ACE SL** に替えると、

SM より柔軟で優しい音になりました。



最後に、リリークラウスの CD を聴かせていただいて M 氏邸を辞しました。

4. まとめ

M 氏のチューニング効果が効いて低音域が締まりながら伸びてきており、倍音領域も伸びて非常にバランスの良い音に仕上がったと思います。

SPU Synergy, SPU Royal と SPU Gold の聴き比べはそれぞれの個性を明確に聴き分けることができ、聴く音楽によって使い分けることが良いことも分かりました。また、IKEDA 9 やベンツマイクロの持つそれぞれの個性の良さも分かりました。トランスについては Ortofon 純正の組みあわせの ST-7 の効果を確認できました。M 氏が最初にかけられたグリュミオーとハスキルの 4 枚の盤の音の違いも興味あるものでした。今後も場所を替えて同様の試聴を行うことにしました。

以上

